

国際コミュニケーション学部

「死者の日」テーマに講演会

学生制作の祭壇やパネルも展示



フィールドワークの経験を話す小林准教授

メキシコ伝統の祭礼行事「死者の日」をテーマにした国際コミュニケーション学部公開講演会「死者の日」が10月29日、神田キャンパスで開かれた。

会場には学生たちが制作した祭壇やパネルも展示され、多くの教員や学生、地域の方などがメキシコの伝統文化への関心を深めていた。



会場に飾られた「死者の日」の祭壇



祭壇の飾りなどを制作する学生たち

死者の日はユネスコの無形文化遺産に登録されており、10月末から11月2日にかけて行われる。冒頭、メルバ・プリア駐日メキシコ大使がビデオメッセージを寄せた。続いてメキシコ史研究者のアルフォンソ・ガルドゥーニョ氏による招待講演が行われ、センパル文明から現代に至るまでのメキシコ文化を見渡し、「数千年にわたる文明のバックグラウンドがあり、死者の日も歴史の変容のなかで生成され、現代に受け継がれている」と結んだ。

第2部は、小林貴徳准教授と井上幸孝教授が講演。文化人類学が専門の小林准教授は20年に及ぶフィールドワークの経験から、先住民の多様性を指摘したうえで、農村部における死者の日の特徴を解説。「死者の日は鮮やかに包まれる国民的祭礼だが、根底にあるのは故人との再会を果たす家族の祭りである」とまとめた。

メキシコ史が専門の井上教授は、古代メソアメリカ文明から現代に至るまでのメキシコ文化を見渡し、「数千年にわたる文明のバックグラウンドがあり、死者の日も歴史の変容のなかで生成され、現代に受け継がれている」と結んだ。

会場に飾られた祭壇は、異文化コミュニケーション学科でスペイン語を専攻する学生有志約30人が制作した。参加した1年次生は「作業しながら3年生の留学体験談を聞いたり、スペイン語圏の文化について学んだりすることができて楽しかった」と笑顔で話していた。

今回の講演会は、千代田区の「千代田学」に今年度採択された「文化的多様性を持つ千代田区の国際性に関する調査・研究」(研究代表:根岸徹郎教授)の一環として開催された。

メキシコ史が専門の井上教授は、古代メソアメリカ文明から現代に至るまでのメキシコ文化を見渡し、「数千年にわたる文明のバックグラウンドがあり、死者の日も歴史の変容のなかで生成され、現代に受け継がれている」と結んだ。

メキシコ史が専門の井上教授は、古代メソアメリカ文明から現代に至るまでのメキシコ文化を見渡し、「数千年にわたる文明のバックグラウンドがあり、死者の日も歴史の変容のなかで生成され、現代に受け継がれている」と結んだ。

大学院公開講座スタート。初回は上田まりえさんが講演。リカレント教育を通じて人生を豊かにしたい人を応援する「大学院公開講座」が10月7日からスタートした。今年度は文学、経済学の2研究科による2部構成で、オンラインで実施している。PART1は「日本語プロフェッショナル列伝 season1」社会に貢献する日本語のプロフェッショナルを統一テーマに文学研究科が担当。初回は本学卒業生でタレントの上田まりえさんが「言葉は人生を豊かにする」と題して講演した。上田さんは2009年に文学部を卒業後、日本テレビにアナウンサーとして入社、16年にタレントに転向し活躍の場を広げている。また、来年度新設される大学院文学研究科日本語日本文学専攻日本文学プロフェッショナルコースの広報アンバサダーに就任した。「日本語の大切さを多くの人に伝えたい」と話す上田さんは、言葉の伝え方の難しさ、楽しさについて説明した。Tokの「上田まりえの日本語教室」で「入籍と結婚の違い」を取り上げるところ、再生回数100万回を突破した。「なぜ豊かな日本語表現を身につけた方がいいか」という大命題に対し、日本語はだれにでもできる簡単なおしゃべり。ファッションや髪形に気をつけるように、自分自身の表現方法の一つとして、言葉は大きな要素になる」と話した。講演後には聴講者から多くの質問が寄せられた。大学院公開講座は11月25日までの毎週金曜日、オンラインで行われる。PART2は経済学研究科による「企業の競争と国家・地域」。受講料は無料。申し込みは各講座の5日前まで。

図書館秋の企画展「神保町の歴史紹介」。図書館秋の企画展「神保町ってどんな街?」専らゆかりの街を歩いてみよう!」が、10月28日から開催されている。神田キャンパスがある神田神保町の由来や歴史、文化についてより深く知ってもらおうと、神田キャンパスKnowledge Baseと生田キャンパスKnowledge Baseと生田Knowledge Baseでは、パネルや関連書籍で日本一の古書店街・神保町の歴史をたどった。本学をはじめとする周辺の大学が古書店街の成立にも影響しており、関連書籍として本学創立者である相馬永胤の講義で使用した教科書、田尻稻次郎の著書なども手に取ることができる。街歩きをテーマにしたコーナーでは、文豪ゆかりの店や出版社の歴史などを写真とともに紹介し、訪れた学生が「こんな場所もあったのか」と見入っていた。本館では、神保町の歴史のほか、ゲルメヤカ

「なぜ豊かな日本語表現を身につけた方がいいか」という大命題に対し、日本語はだれにでもできる簡単なおしゃべり。ファッションや髪形に気をつけるように、自分自身の表現方法の一つとして、言葉は大きな要素になる」と話した。講演後には聴講者から多くの質問が寄せられた。大学院公開講座は11月25日までの毎週金曜日、オンラインで行われる。PART2は経済学研究科による「企業の競争と国家・地域」。受講料は無料。申し込みは各講座の5日前まで。

「なぜ豊かな日本語表現を身につけた方がいいか」という大命題に対し、日本語はだれにでもできる簡単なおしゃべり。ファッションや髪形に気をつけるように、自分自身の表現方法の一つとして、言葉は大きな要素になる」と話した。講演後には聴講者から多くの質問が寄せられた。大学院公開講座は11月25日までの毎週金曜日、オンラインで行われる。PART2は経済学研究科による「企業の競争と国家・地域」。受講料は無料。申し込みは各講座の5日前まで。

「なぜ豊かな日本語表現を身につけた方がいいか」という大命題に対し、日本語はだれにでもできる簡単なおしゃべり。ファッションや髪形に気をつけるように、自分自身の表現方法の一つとして、言葉は大きな要素になる」と話した。講演後には聴講者から多くの質問が寄せられた。大学院公開講座は11月25日までの毎週金曜日、オンラインで行われる。PART2は経済学研究科による「企業の競争と国家・地域」。受講料は無料。申し込みは各講座の5日前まで。

「なぜ豊かな日本語表現を身につけた方がいいか」という大命題に対し、日本語はだれにでもできる簡単なおしゃべり。ファッションや髪形に気をつけるように、自分自身の表現方法の一つとして、言葉は大きな要素になる」と話した。講演後には聴講者から多くの質問が寄せられた。大学院公開講座は11月25日までの毎週金曜日、オンラインで行われる。PART2は経済学研究科による「企業の競争と国家・地域」。受講料は無料。申し込みは各講座の5日前まで。

ハラスメントは「人権」の問題。ハラスメントについて、日本の法律は、「ハラスメント罪」を制定して加害者を処罰するよりも、労働問題として事業主にその予防や対応を義務づける方向ですすみました。はじめてこうした規定ができたのは男女雇用機会均等法の1997年改正で、「セクシュアル・ハラスメント」につき、「職場において行われる性的な言動」により「就業環境が害されることのないよう」適切に対応するための「必要な措置を講じなければならない」(11条)と定められました。また2010年代になると、「働き方改革」の名のもとにさまざまな法整備が行われ、「マタニティー・ハラスメント」(16年)、「パワー・ハラスメント」(19年)について同様の規定が設けられています。これに対して、「キャンパス・ハラスメント」にはま

だ法的な定めがありませんが、専修大学ではこれを、「人格の尊厳を傷つけるような言動」の問題であるとともに、差別的・不利益な取扱いによって「人権を侵害」することだと宣言しています。ハラスメントがより広い「人権」の問題として捉えられているのは大変誇らしいことです。ただ、「人権」の問題なのだとすれば、誰もこれを他人任せにはできません。ハラスメントを起こさないことはもちろん、見て見ぬふりをしたり、放置したりして、「適切に対応する」ための措置を怠るようなことはあってはならない、自戒の念を込めてあらためてそう思います。140年の歴史と伝統をもつわれらが専修大学を、みんなでもよりよい場にしていきたいですね。(キャンパス・ハラスメント対策室員 河崎祐子)

だ法的な定めがありませんが、専修大学ではこれを、「人格の尊厳を傷つけるような言動」の問題であるとともに、差別的・不利益な取扱いによって「人権を侵害」することだと宣言しています。ハラスメントがより広い「人権」の問題として捉えられているのは大変誇らしいことです。ただ、「人権」の問題なのだとすれば、誰もこれを他人任せにはできません。ハラスメントを起こさないことはもちろん、見て見ぬふりをしたり、放置したりして、「適切に対応する」ための措置を怠るようなことはあってはならない、自戒の念を込めてあらためてそう思います。140年の歴史と伝統をもつわれらが専修大学を、みんなでもよりよい場にしていきたいですね。(キャンパス・ハラスメント対策室員 河崎祐子)

だ法的な定めがありませんが、専修大学ではこれを、「人格の尊厳を傷つけるような言動」の問題であるとともに、差別的・不利益な取扱いによって「人権を侵害」することだと宣言しています。ハラスメントがより広い「人権」の問題として捉えられているのは大変誇らしいことです。ただ、「人権」の問題なのだとすれば、誰もこれを他人任せにはできません。ハラスメントを起こさないことはもちろん、見て見ぬふりをしたり、放置したりして、「適切に対応する」ための措置を怠るようなことはあってはならない、自戒の念を込めてあらためてそう思います。140年の歴史と伝統をもつわれらが専修大学を、みんなでもよりよい場にしていきたいですね。(キャンパス・ハラスメント対策室員 河崎祐子)

だ法的な定めがありませんが、専修大学ではこれを、「人格の尊厳を傷つけるような言動」の問題であるとともに、差別的・不利益な取扱いによって「人権を侵害」することだと宣言しています。ハラスメントがより広い「人権」の問題として捉えられているのは大変誇らしいことです。ただ、「人権」の問題なのだとすれば、誰もこれを他人任せにはできません。ハラスメントを起こさないことはもちろん、見て見ぬふりをしたり、放置したりして、「適切に対応する」ための措置を怠るようなことはあってはならない、自戒の念を込めてあらためてそう思います。140年の歴史と伝統をもつわれらが専修大学を、みんなでもよりよい場にしていきたいですね。(キャンパス・ハラスメント対策室員 河崎祐子)